

議会のあり方調査特別委員会 議会ICT検討分科会 記録	
開会年月日	令和4年10月24日
開会時刻	午前9時58分
閉会時刻	午前10時39分
出席委員名	◎北村 勝 ○宮崎 誠 三野泰嗣 川口 浩
	吉井詩子 岡田善行 福井輝夫 吉岡勝裕
	世古 明 議長
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	森田晃司
協議案件	1 議会のデジタルデバインド対策について ・デジタルデバインドにおける対応について ・伊勢市議会パソコン用語集について
	2 議会におけるペーパーレス化について
	3 SNS・ホームページについて
	4 オンライン会議について
説明員	森田書記

会議の概要

北村会長が開会を宣告。その後、直ちに会議に入り、「議会のデジタルデバインド対策について」外3件を順次議題とし、協議を行い、分科会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

協議の内容

1 議会のデジタルデバインド対策について

「デジタルデバインドにおける対応について」を議題とし、会長から5月に実施したアンケートの結果に基づき、Gメール、Googleカレンダー、Googleドライブについて、「分からない」、「できない」と回答した議員を対象に議会事務局がサポートしていることを紹介、しかし、普段からパソコンを使用していない議員においては一朝一夕でどうにかなるものではなく、普段からの意識付けが大事となってくることが報告された。加えて今後も会派でのサポート・協力のお願いがあった。また、今後も個々のレベルを底上げするため、オンラインを活用していくことが確認された。

次に、「伊勢市議会パソコン用語集について」を議題とし、会長から、デジタル用語が分からないことがデジタルデバインド拡大の一因になってしまう可能性があるため、これを解消していくよう議会事務局において「伊勢市議会パソコン用語集」を作成したことを報告、その後、これについて議会事務局から説明があった。この用語集については、会派へ持ち帰りとなり、議員からの要望に基づいて追記していくことで完成とすることが確認された。

2 議会におけるペーパーレス化について

会長から、10月7日に正副会長・議会事務局と当局総務課・デジタル政策課とで議会資料のペーパーレス化に向けての打合せを行ったことを報告、打合せ内容については、議会資料のPDFでの提供は可能であるが、検証が必要であるため、12月定例会、3月定例会において試行期間として正副会長を対象に資料のデータ提供の予定があること、そして6月の並行運用に向けて進めていきたいとしたことを紹介。その後、委員から発言を求めたところ、特に発言なく、次回、改めて議会資料のペーパーレス化についてのスケジュールを示すことが確認された。

3 SNS・ホームページについて

会長から、伊勢市議会公式SNSに開設について、前回までの協議の中で反対する意見が多かったことを踏まえ、現時点では伊勢市議会公式SNSの開設については見送りとし、今後議会として気運が高まった場合には改めて検討することを提案したところ、特に異議なく、本件については全体会に報告することが確認された。

4 オンライン会議について

オンライン会議については、議会運営委員会において条例整備が進められている旨の報告、本分科会においても条例整備後にオンライン会議が必要となった場合に備えて、実践をしていく必要があり、会長が接続テストを実施することを提案したところ、特に異議なく、実施することが確認された。

なお、協議の中で対象者を分科会委員のみとするのか、希望する議員を加えるのか意見が分かれたが、協議の結果、対象者は分科会委員及び希望する議員とすることとなった。

上記署名する。

令和4年10月24日

会 長